

東南アジアの国名の意味と由来（解答編）

ver 1.0 2009-02-05, ver 1.1 2009-10-02, ver1.2 2010-05-13, ver1.3 2010-05-17

国名	名前の意味・由来（正式名称は英語による）
インドネシア Indonesia	正式名称「インドネシア共和国」(Republic of Indonesia)。「インド」を意味する Indo、ギリシア語の「島嶼」を意味する nesos、ギリシア語で「国」などの意味をもつ接尾辞 ia を組み合わせて作られた合成語で、「インドの島々」という意味である。19 世紀にヨーロッパの地理学者がインド亜大陸のむこうに広がる島々の総称として考案したのが始まり。本来は、フィリピンなどを含んでおり、現在の「東南アジア島嶼部」と重なる範囲を指していたが、オランダ領東インドの民族主義者たちが、自分たちの住む領域の名称として採用し、1928 年の「青年の誓い」のなかで使い、現在のインドネシアを示す名称として一般化した。
カンボジア Cambodia	正式名称「カンボジア王国」(Kingdom of Cambodia)。建国神話によると、海の方こうからバラモンのカウンディニャが舟に乗って渡来し、現地の王女ナギと結婚した。ナギの父である竜王は、土地を覆っていた水を飲み干し、婿のために領土を拡大した。カウンディニャはそこに王都を建て、国の名前を「カンブジャ」(Kambuja) に改めた。カンボジアの名前はこの建国神話に基づく。カンブジャは「カンブの子孫」の意味で、インドの叙事詩に伝承される地名である。「カボチャ」の語源。
シンガポール Singapore	正式名称「シンガポール共和国」(Republic of Singapore)。サンスクリット語で「ライオンの都」を意味する「シンハプura」(Singhapura) に由来する。マレー王家の宮廷史書である『スジャラ・ムラユ』によると、王家の祖先がこの地に初めて上陸したとき、異様な動物を目撃するが、それがライオンであるという家臣に進言に基づき、この地に建てた王都をシンハプura と名付けたとされる。
タイ Thailand	正式名称「タイ王国」(Kingdom of Thailand)。19 世紀後半から民族名であった「シャム/サヤム」(Siam) を王国の名称としていたが、1939 年に時の首相ピブーンが「タイ国」(Thailand) に改称した。「タイ」は「自由」の意味であると説明されているが、語源的にはラオ人などを含む民族名「タイ」(Tai, h がつかない) と同じで、本来は「人」の意味である。
東ティモール East Timor	正式名称「東ティモール民主共和国」(The Democratic Republic of Timor-Leste)。「ティモール」はマレー語で「東」を意味する timur に由来する。14 世紀のジャワ語文献に Timur の名で記録されている。ジャワ島、バリ島に連なる小スンダ列島の最東端に位置するところから「ティムール」と呼ばれ、現在の「ティモール」になったと推測される。のちに島の東部はポルトガル領となり、1945 年にインドネシアがオランダから独立してもポルトガル領として残った。1975 年にインドネシアによる武力併合されて東ティモール州となったが 2002 年に独立した。Leste はポルトガル語で「東」の意味である。なお Timor Lorosa'e (ティモール・ロロサエ) は公用語のテトゥン語で「東ティモール」の意味。
フィリピン Philippines	正式名称「フィリピン共和国」(Republic of the Philippines)。1543 年にスペインのビリャロボス遠征隊がフィリピン諸島に到達し、これらの島々を時のスペインの王子フェリペ 2 世 (のちに国王) にちなみフィリピナス諸島 (Las Islas Filipinas) と名付けた。現在の国名はその英語表記である。
ブルネイ Brunei Darussalam	正式名称「ブルネイ・ダルサラーム国」(Negara Brunei Darussalam)。「ブルネイ」は現地の古来からの地名である。中国では唐代から「渤泥」の名で記録されている。ボルネオも同じ語源である。「ヌガラ」はマレー語で「国」、「ダルサラーム」はアラビア語で「平和な土地」を意味し、イスラームの教えが守られる国のことを意味する。
ベトナム Vietnam	正式名称「ベトナム社会主義共和国」(Socialist Republic of Vietnam)。1802 年にベトナム全土を統一したグエン朝が使い始めた国号「越南」(ヴィエトナム) が「ベトナム」の由来である。越族は中国長江南方に分布した民族で、「呉越同舟」で有名な越も越族の国の一つである。ベトナム人は自らを越の子孫とみなしており、「越南」は「南の越の国」を意味する。
マレーシア Malaysia	正式名称「マレーシア」(Malaysia)。古来からスマトラ島東岸、マレー半島、ボルネオ島沿岸に住む民族は「ムラユ」(Melayu) と呼ばれてきた。その英語化した名称である「マレー」(Malay) にギリシア語で「国」などの意味をもつ接尾辞 ia を組み合わせて作られた合成語。ムラユがサンスクリット語でインドの南に位置する山の名前である「マラヤ」(Malaya) に由来するとする説もある。
ミャンマー Myanmar	正式名称「ミャンマー連邦」(Union of Myanmar)。この国の現地名称は、公式の文語では「ミャンマー」(Myanmah)、日常口語では「バマー」(Bamā) であり、いずれも 12 世紀の碑文に記録されている民族名「ムランマー」(Mrammā) が音変化したものである。Myanmar と Burma はそれぞれの英語表記である。日本語の「ビルマ」はヨーロッパでの呼称が (おそらくオランダ語経由で) 江戸時代に入ったものである。
ラオス Laos	正式名称「ラオス人民民主共和国」(Lao People's Democratic Republic)。「ラオ」(Lao) は古くからこの地の民族名として使われてきた。Laos の s はフランス語の複数形であり、フランスの植民地であったときの表記の名残である。「羅宇」の語源。